186

事を祈って、

力強く大地を踏みしめる。

この先も先人の思いを受け継ぎ、

安穏無

だけは途切れさせることなく続けてきた。

代神楽。一時衰えながらも神社の奉納

練を重ねている。

悪魔払いの祈祷神楽の

ル 1

ツをもつ

演目の習得と舞いの精度を上げるべく

現在は、

奉納や舞台発表の合間に、





■「鐘巻道成寺」の一場面。小田代神楽は南部神楽に 分類され、演目は神々に奉納される式舞と、神話や伝 説などをモチーフにした仕組み舞がある。鐘巻道成寺 は仕組み舞の一つ。演じているのは菅原愛さん(20歳)。 小学生の頃に神楽に魅了され舞い手に。多くの舞台に しなやかな舞いを披露している

後も県内外へ発表の場を精力的に広げ、

楽に助力を請い、

式舞六番を習得。

その

元の青年らを募り、 平成15年には、

江刺玉里の和田神

現座

元の及川

章

28年に市無形民俗文化財に指定された。

をつないできた。





23 平成 27 年 10 月に小田代神楽 6 代目相伝式と創始 120 年記 念式典を挙行。6代目座元及川章氏は「郷土芸能は農村文化の 最後の砦だ。失くす訳にはいかない」と継承に力を入れている

たる。太鼓と鉦が鼓動し、祀りがはじま静寂の中、のびやかな笛の音が響きわ 小田代神楽は、 11 明 刺田原= 市指定無形民俗文化財

瀬台野村から石山村蟹沢に養子に来た瀬 元らの尽力により始められた。 台野神楽士・菅原金之丞を師に、 、地元五十瀬神社の例祭神事を務めな戦後は社会環境の変化により衰退した 小学生へ神楽の指導を行い、 治28 (1895) 初代座 命脈

小に 田だ ときを越え **気け継がれるもの** 第131回

広 告